

～ 男女共同参画社会の実現に向けて～

モア MORE

幸手市^{ひと}女と^{ひと}男の情報紙
第28号 2023

モア(MORE)とは、女と男が^{より}豊かに、^{より}すばらしい
男女共同参画社会実現への願いを込めて命名しました。

表紙の絵

社会生活や家庭生活での役割分担で、無意識の思い込みによる言動や態度を経験したことはないか、考えて行動してほしいと願っています。

特集

“無意識の思い込み”
をしていませんか？



絵・デザイン 三澤 昭人 作



特集 “無意識の思い込み” をしていませんか？ 2,3ページ
ひと 女と男の共生セミナー in 東中学校 3ページ
日本女性会議 2022 in 鳥取くらし 4ページ
パープルリボンキャンペーン 4ページ

特集

『気づき』が大切！

“無意識の思い込み”をしていますか？

令和4年7月、世界経済フォーラム（WEF）が男女格差を測る「ジェンダーギャップ指数」を発表し、日本は、146か国中116位で先進国の中で最低レベルとなりました。

日本で男女共同参画社会が形成されない要因の一つとして、「性別役割分担意識」や男女の「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）」が挙げられます。



1 “無意識の思い込み”（アンコンシャス・バイアス）とは

「無意識の思い込み」は、英語で「アンコンシャス（無意識的な）バイアス（思い込み、偏見）」と訳され、自分自身が気づいていないものの見方やとらえ方の偏りのことをいいます。誰かと接するとき、自分自身の過去の経験や、見聞きしたこと、価値観などに照らし合わせて、「ふつうはこうだろう」と、自分なりに解釈することによって引き起こされるものです。

2 日常や職場、学校などにあふれている「思い込み」



一緒に
考えてみよう！

日常生活や職場、学校などで、
思う・感じることはありませんか？



～日常生活編～

- ・ 男性/女性は、男性らしく/女性らしくするべきだ
- ・ 性別、世代、学歴などで、相手を見ることがある
- ・ 血液型を聞いて、相手の性格を想像することがある
- ・ デートや食事のお金は男性が負担すべきだ
- ・ 結婚したら姓を変えるのは女性であるべきだ
- ・ 親戚や地域の会合で食事の準備や配膳をするのは女性の役割だ
- ・ 子どものいない夫婦に対して、「子どもはまだなのかな？」と思うことがある
- ・ 保育士と聞くと、女性を思い浮かべる（男性を思い浮かべない）
- ・ DV（ドメスティック・バイオレンス）と聞くと、男性が暴力をはたらいていると想像する（女性を想像しない）
- ・ LGBTであると聞くと、戸惑いを感じてしまう

～職場編～

- ・ 「男性/女性だからこの仕事はできるだろう」と思うことがある
- ・ 部下に対して「そんなことも知らないの？」と思う
- ・ 共働きで、子どもが病気になったときは母親が休んだほうが良いと思う
- ・ 男性から育児や介護休暇の申請があると、「奥さんは取らないの？」と思う
- ・ 定時で帰る人はやる気がないと思う

～学校編～

- ・ 男の子は黒色、女の子は赤色のランドセルを選ぶと思う
- ・ 休み時間に本を読む子は「真面目」だと思う
- ・ 理系大学生と聞くと、男性を思い浮かべる

参考：内閣府男女共同参画局

「令和3年度 性別による無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)に関する調査研究 調査結果」より

日常生活や職場、学校などでは、上記のほかにも“無意識の思い込み”がたくさん存在します。

3 “無意識の思い込み”に気づこう！

無意識の思い込みは、いつでも、どこでも、誰にでもあるものです。同じモノを見ていても、同じ言葉であっても、人によりさまざまな感じ方があります。もしかすると私たちは、どこか無意識に決めつけたり、押し付けたりしていることがあるかもしれません。大切なことは、その「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に気づこう」とすることです。



4 “無意識の思い込み”の解消に向けて少しずつ取り組んでみよう

決めつけない、押しつけない

誰かと接しているときに、考えや価値観などに違和感を持ったら、一度立ち止まって考えてみてください。

大きな主語は使わない

「今どきの若者は～」「だから男性/女性は～」とひとくくりにしないようにしましょう。

相手の気持ちの変化に注目する

自分の言動で相手の態度が変わったと感じたときは、相手の気持ちになって、フォローを心がけてください。

自分自身のモノの見方から変えてみる

無意識の思い込みに気づこうと意識することが大切です。

令和4年度 女と男の共生セミナー in 東中学校

→ 講演会の様子



恋愛をするうえでいろいろな考え方があり、人それぞれ自分に合った、その自分なりのやり方で行うことが大切だなと思いました。

男性だから、女性だからという決めつけを変えていくことの大切さや、LGBTQへの理解を深めることの大切さも分かりました。

～生徒の感想～

誰でも、誰を好きになってもいい、性にとらわれないことが現代社会を生きていくうえで重要なことだと思いました。

ひとり一人の性と生
～みんな違ってあたりまえ～

講師 古野 ひとみ氏



令和4年11月25日(金)に「女と男の共生セミナー」を幸手市立東中学校で、3年ぶりに開催しました。今回の講師は、NPO法人「LGBTの家族と友人をつなぐ会」理事、NPO法人「あなたのSOGIE」代表の古野ひとみさんです。

講演は、性の多様性を次の4つの要素から、クイズ方式ですすみました。生徒たちに質問を投げかけ、答えや考えを求めました。

- ①からだの性 ②性自認
- ③性別表現 ④性的指向

挙手して、自分の意見や考えを発表する生徒に講師は、温かく丁寧に応えてくれました。“みんな違ってあたりまえ”の姿勢で明るく語り、多様性の大切さを認め合う講演でした。また、生徒代表から、“お互いの性を尊重しあえる社会をつくりたい”という感想発表がありました。



日本女性会議 2022 in 鳥取くらよし

Smile in くらよし

～だれもが共に笑顔になれる夢ある未来～

日本女性会議は、1975年（昭和50年）の国連総会の理念である「平等・開発・平和」の基に定めた国連婦人の10年を記念し、開催されてきました。今年度は鳥取県倉吉市で開催され、幸手市男女共同参画推進協議会から2名の委員が参加しました。

分科会Ⅰ SDGs

未来創造コンテスト

～高校生が夢をかなえる第1歩～

鳥取県が直面する人口の減少をくい止め、活気を取り戻し、特色ある自然を今後も持続していくためのアイデアを、倉吉市内の4校7グループの高校生が発表した。

内容としては、鳥取県は一人あたりのカレーの消費量が日本一であるため、地元食材を使用したカレーパンを開発して名物を目指すといったものや、美しい山、川、海、温泉、季節の農作物を堪能するための観光PR動画の作成、また、小中高校にエアコンが設置されていないため、ヘチマ、キュウリ、アサガオを栽培することで遮光カーテンとしての利用促進を訴える等があった。

助言者で社会学者の上野千鶴子さんが、「自分にとって切実でなければ問題にはならない」と話されたが、そうであるからこそ、倉吉市の高校生たちが知恵を出し合い、準備をして今回の発表に臨んだのだと思った。

この分科会の模様は当日のニュースでも取り上げられており、地域での関心の高さに改めて気付かされた。

分科会5 防災

避難行動要支援者について知る

～あなたの近くの支援が必要な人へ、
いざというときに…～

この分科会では避難行動要支援者を理解し、災害時に私たちは何をなすべきかについての討議がなされた。近年どこでも起こる災害、とりわけ豪雨は私たちの生活の中に入り込んでいる。そんな状況に直面した時、いつ逃げるか、どうやって逃げるか、さらには自ら動けない人（避難行動要支援者）とどう向き合うかをあらかじめ考えておく必要がある。その答えが「支え愛マップ」作成の提案であった。

「支え愛マップ」とは災害時に誰かの手助けや声かけを必要とする人、声かけができない人、避難先など一連の情報を盛り込んだ地図のことである。地域みんなで「支え愛マップ」づくりをすることでつながりが生まれ防災弱者を出さないという取り組みだ。倉吉市では各地域の自治会が「支え愛マップ」の作成に取り組んでいる。

行政まかせではなく、まさに市民自らの行動にかかっているとの認識を新たにした。

パープルリボン キャンペーン

埼玉県では、「女性に対する暴力をなくす運動」を多くの人に啓発するため、県民の皆様にはパープルリボンを作っていただき、タペストリーを完成させるというキャンペーンを実施しています。

（参加：30市町村／埼玉県63市町村）

幸手市では、このキャンペーンの趣旨に賛同し、「女性に対する暴力をなくす運動」の取組みとして、令和5年2月1日(水)～2月7日(火)まで実施しました。



↑市役所ロビーで実施

※パープルリボンは、DVをはじめとする女性に対する暴力をなくそうという国際的なキャンペーンのシンボルです。

6/23～6/29は男女共同参画週間です。

毎年期間中は、市役所本庁舎1階ロビーにてパネル展を開催しています。



←パネル展の様子

編集後記

何気ない言葉で傷ついたり傷つけたりして、穏やかに生きるのはなかなか難しい。けれど、その言葉が、人の心や思いに寄り添い支えてくれる時もある。生きづらさ、生き苦しさ、もやもや感から、少しでも、楽に楽しく生きられることを願って、この「モア」をお届けします。

2023年3月1日発行（年1回発行）第28号／幸手市総務部人権推進課発行 幸手市男女共同参画推進協議会編集
〒340-0192 幸手市東4-6-8 TEL 0480-43-1111 内線162 FAX 0480-44-0257
（女と男の情報紙「モア」について、ご意見・ご感想をお寄せください。）